

マルチメディアDAISY図書の周知活動

東京都新宿区立戸山図書館
福田梓

新宿区立図書館の障害者サービスについて

新宿区立戸山図書館では、新宿区の視覚障害者等サービスの拠点館です。おもなサービスとして、デジタル録音図書のDAISY図書の製作や貸出、対面朗読サービス、家庭配本、点字本や大活字本の収集などを行っています。

DAISY図書の製作は、当館に所属しているボランティア団体や全国音訳ボランティアネットワークのご協力により、年間60タイトルの作品を提供することができています。

本年度は、マルチメディアDAISY図書の周知活動、定例会での講演会を行いました。以下にまとめさせていただきます。

マルチメディアDAISY図書を使ったおはなし会

前回に引き続き、マルチメディアDAISY図書を使ったお話会を開催しました。

マルチメディアDAISY図書BLUE版

の『おにぎり おむすび』『海の中をのぞいてみよう4』『クスクーのおはなし』の3本立てを、スクリーンに映して体験してもらいました。

ふだんとは違うおはなし会だったので、興味をもってくれましたし、『おにぎり おむすび』は特に評判が良く、一緒に歌ってくれる子や、繰り返しやって欲しいとおねだりしてくる子もいました。



マルチメディアDAISY図書を使ったおはなし会

その他、学習障害や障害者について簡単にまとめた冊子を作り、参加者に配布しました。それを読みながら、なぜマルチメディアDAISY図書が開発さ

れたのか、こういった効果があるのかを一緒に学びました。点字絵本やビッグブック、布絵本なども合わせて紹介し、見えにくい子（print-disability）に対する理解を深めました。

出張おはなし会

前年度に引き続き、配慮が必要なお子様を支援している保育所や病院で入院しているお子様への出張おはなし会を、それぞれ月に1回程度行っています。

本を読んで聞かせるだけではなく、楽器を使用したり、歌を歌ったり、さわって楽しめるものを用意したりして、さまざまなアプローチを心がけています。配慮が必要なお子様と接することで、どんなサービスや心遣いが大切なのかを気づくことができました。今後はぜひおはなし会にマルチメディアDAISY図書を使用したいと考えています。

早稲田大学との連携事業

早稲田大学教育学部の生涯学習論の一環で、公共図書館の役割や図書館の仕事について紹介する授業を行いました。

図書館の障害者サービスの意義や具体的な仕事内容を、ふだん使用している機材も見せながら説明しました。プレクストークやマルチメディアDAISY

図書、点字本、大活字本などを見て、熱心にメモをとってくれていたのが印象的です。

学生からは、こういったものがもっと浸透するようになってほしいという声や、音訳という仕事に興味をもち、将来やってみたいといった声をいただき、とても良い反応をしてくれました。



早稲田大学との連携事業1



早稲田大学との連携事業2

定例会での講演会の実施

当館で製作している「声の図書館だより」は、図書館からのお知らせや、新着図書を音声でご案内しています。障害者サービス登録者の希望者に隔月で発送しています。一部肉声を使用していますが、合成音声を使用することにより、よりスピーディーに製作・編

集することができます。

現在使用しているのは東芝のRECAIUS音訳エディタ(Daisy Rings)です。本年度は東芝、シナノケンシ社よりお越しいただきボランティア向けの講習会を行いました。

6月の定例会の際に東芝よりご担当者をお招きし、講習会を行いました。講習会の内容としては、Daisy Ringsの使い方をより具体的に説明してくれました。また東芝開発の最新鋭の音訳装置も見せていただくことができ、いままでDaisy Ringsを知らなかったボランティアにも周知することができました。またDaisy Ringsは画像処理もできるため、今後はマルチメディアDAISY図書の開発にも挑戦していきたいと考えています。

11月の定例会では、シナノケンシ社をお招きし、学習障害(LD)の実態とマルチメディアDAISY図書の有効性について説明していただくとともに、Producerの使い方について画像を見ながら行いました。

またパソコン画面を見ながらの操作説明、そのあと実技練習を行いました。

ボランティアから質問にも対応してくれました。

講習会を通して、マルチメディアDAISY図書を作るのに一筋縄ではいかないと実感しました。むしろ使いこなせるようになれば、もっとサービスが広がるので、来年度はそれを目標にしたいと思います。



定例会での講演会の実施



定例会での講演会の実施